

住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第1575号 2001年01月22日(月)

《 compassion, civility and character 》

ブッシュ米新政権がスタートした。ジョージ・ウォーカー・ブッシュは20日に14分強の就任演説で自らの政権をスタートさせ、それから数時間後に米上院はブッシュが指名した閣僚候補のうちもっとも反対が少ないコリン・パウエル(国務長官)ら7人をわずか13分の投票行動によって閣僚として承認した。上院が土曜日にこうした指名承認を行うのは珍しい。

ブッシュの就任演説は、事前に練りに練ったと言われたほどには名演説だとは思えないし、ワシントン・ポストも「elliptical」、つまり「(言葉が省略されていて)わかりにくい」と評していた。筆者の個人的な趣味を言えば、ブッシュの演説では共和党の指名受諾演説の方が印象に残っている。また、あいにくの天候もあってそれほど会場が沸き立つといったこともなく、また具体性が前面に出たものでもなかった。「過大評価されるより過小評価された方が良い」というのがブッシュの考え方だそうで、就任演説もどちらかと言えば low key でのスタートとなり、性格がよく出ているとも言える。

演説は、「compassion または compassionate」、「civility」「character」の三つの単語をキーワードにするもので、それぞれの単語はこの14分強の短い演説の中で4回ずつほど出てきている。「compassion」とは彼の掲げたスローガンの中でもっとも有名になった「compassionate conservatism」から来ているもので、「思いやりのある」という単語につながる。就任演説の中で「compassion」の中身に触れて

「Many in our country do not know the pain of poverty, but we can listen to those who do.」

というようなことを言っているが、これはクリントン政権下で財務長官を務めたサマーズが就任当時にアメリカの目標として掲げた「墜ちこぼれなき繁栄」の考え方に似ている。ブッシュの就任演説を見ても、「共和党中道から保守派にかけての政権」と言われている割には、「繁栄のあり方」として「弱者への気配り」という点ではクリントン政権と似たところもある政権だと言える。しかし、外交とか環境問題になると、二つの政権の性格は大きく異なる。「civility」とは「礼儀正しい」といった意味で、礼節を重んじる保守的な考え方がにじんでいる。

ブッシュは具体的に就任演説では

1. 学校再生 (Action to "reclaim America's schools.")
2. 社会保障制度の改革 (Reform of Social Security and Medicare.)
3. 景気浮揚のための減税 (Tax cuts "to recover the momentum of our economy" and reward the effort of working Americans.)
4. ミサイル防衛システムなど国防 (A national defense "beyond challenge," and action to confront "weapons of mass destruction," the national missile defense system he advocates.)

の四つを挙げている。しかしこれらは、ブッシュ政権にとってやや長期的な課題である。当面の問題としては

1. カリフォルニアの電力危機
2. 予算編成
3. 中東和平の枠組みの再構築

などが大きな課題となる。カリフォルニアの電力危機は既にアメリカ経済の心臓部になりつつあるリコンバレーのハイテク企業に実害を及ぼすに至っている。カリフォルニアの電力危機には、ハイテク景気で夏場の需要が予想以上に伸びた発電燃料の天然ガスが急騰した環境問題などで発電量が増やせない状況 降雨不足で水力発電能力が落ちた一などの特殊事情もあったものの、規制緩和をどのように進めるのが妥当かという哲学的な問題も含んでいる。

これまでにカリフォルニアの電力危機に短期効果が望める具体的な処方箋を示していないブッシュにとって、最初の大きな仕事となる。恐らく環境保護などの考え方をクリントン時代とかなり変えてくる可能性が高い。

先行きが怪しくなっている景気をどう考えるか、それとの関係で景気に再び息吹きを与えるにはどの政策が妥当かなどで、グリーンSPAN率いるFRBとどのような形で協力できるかなども課題だし、選挙公約の大きな柱である減税を議会、FRBとどう調整するか、支持を取り付けるかも関門である。

史上希に見る接戦をようやく勝ち抜いての大統領、カリスマもない、頭のレベルも問われている...とあって「弱い大統領」を予想する向きもある。しかし、テキサス州知事の時も議会は最初協力的ではなかったが、その議会を味方に付けることに成功しているし、なによりもアメリカ経済が絶好調の時に現職大統領の後任とも言えるゴア副大統領を破って当選した力は無視すべきものではない。

彼を取り巻く閣僚も、わずか8年前には大統領だった父親から譲り受けたかのように

実力者揃い。実力者の力がぶつかりあうのでは、という懸念もあるようだが、本人はレーガン並の「chairman of the board」的な大統領になると見られており、部下の力をうまく引き出せばなかなかの大統領になる可能性がある。ポイントはクリントンにとってのゴア以上に存在感が大きくなるチェイニーの役割でしょう。ただしチェイニーは自らの役割を十分に承知している人物だとみられる。

短い期間ですがこれまでの本人の行動や閣僚候補の行動を見ていると、「一貫性」が目立っている。ブッシュは「compassionate conservatism」を主義として打ち出して以降、共和党の指名受諾でも、大統領就任演説でもこの言葉を繰り返し使う。先のオニールのドルに関する発言を見ても、ホワイトハウスにいる経済担当大統領補佐官であるリンゼーの考え方を踏襲している。つまり、政権としてかなり意思統一が出来ているし、政策に「一貫性」もある。この辺が新しい政権を見る上でのポイントになりそうだ。

《 wide gyration in yen prices 》

金融市場に目を転じると、ドルは上げ一服、株式相場は日米で下げ一服となっている。先週までのドルの上げはほぼ休みなしでしたから、オニール財務長官承認のための証言を待つ形でドルが上げ一服となったのは当然でしょう。またこれまでドル高・円安を放置してきた日本の通貨政策に関して思惑が高まるのも当然だと思います。

速水日銀総裁は就任以前からほぼ一貫して円高論者、円高歓迎論者で最近の発言もこの総裁の基本的な見方を述べたものと思慮されます。しかし、だからといって日銀の総裁が直ちに円高への相場の転換を促せるわけではないし、基本的に介入政策を決めている大蔵省を動かせるわけではない。宮沢蔵相や黒田財務官の立場は「現時点では円安を云々することはない」という姿勢でしょう。スピードはちょっと気にしていたかもしれませんが。

筆者は、こうした調整をへながらも円相場は弱い展開を当面続けると見ています。為替相場の今後の展開を見る上で重要なのは、2月中旬に開かれる次回のG7です。ここで議論は、その後の円相場の展開に大きな影響を与えるでしょう。

株式相場は日米ともかなり落ち着いてきた印象がします。特にアメリカの市場は政権交代もあっての神経質な展開の時期を過ぎて、当局の政策や企業業績を眺める展開になる。上値を追い続ける状況にはないので、ジリジリ上がっては下がるという展開が続けると考えられる。Nasdaqでは3000ドル前後が重くなることが予想される。東京の株は決算の乗り切るまでは下値不安が強い展開だと思慮します。

今週の主な予定は以下の通りです。

1月22日(月)

1 1月産業活動指数

1 1月日銀金融経済月報

1 2月コンビニエンスストア売上高

1月24日(水)	米12月財政収支 速水日銀総裁月例会見
1月25日(木)	米10 - 12月雇用コスト指数速報値 米12月中古住宅販売
1月26日(金)	12月商業販売・大型小売店販売 12月全国消費者物価 1月東京都区部消費者物価 米12月耐久財受注

《 have a nice week 》

雪の週末でした。土曜日は名古屋にいたのですが、昼前から降り出して直ぐに積もりだした。夕方東京に帰ってきたら東京も降っていて、それからずっと日曜日の朝まで降っていたらしい。高円寺のマンションの前もかなり積もっていた。蚕糸の森公園では、子供達が嬉しそうに遊んでいました。

日曜日は東北自動車道の久喜からしばらくの東鷲宮まで行く用事があったのですが、10時半頃出発したら、道路はガラガラ。気持ちよく空いている。出てこられない車、出るのを嫌がった車などなどに加えて日曜日の午前中という要素も加わったのですが、とにかく空いていた。

今年は全国的に雪が多い。しかも寒い。そういえば、ブッシュの就任演説も寒そうでした。名古屋では瀬戸などの2005年の名古屋万博予定地を見せてもらいました。自然保護か万博かでもめたところでした。しかし、私に言わせれば「万博」というのもずいぶんと古色蒼然としている。政府がやっているらしいインターネット上のインパクに興味がないのも、「万博」の発想から出ていないからです。

なぜかと考えてみたら、要するに何でも揃えているという印象がする。まあ言ってみればデパートです。専門店ではない。興味がわきませんね。まあおやりになるというのなら結構ですが。

今週は広島などに伺います。また来週は松山出張のためこのニュースは休みます。皆さんには良い一週間を。

《当「ニュース」は、住信基礎研究所主席研究員の伊藤(03-5410-7657 E-mail ycaster@gol.com)が作成したものです。許可なき複製、転送、引用はご遠慮下さい。また内容は表記日時に作成された当面の分析・見通しで一つの見方を示したものであり、売買を推奨するものではありません。最終的な判断は、御自身で下されますようお願い申し上げます》